

現場の課題を「現場で解決」 ノーコード開発の効果を最大化するコツ

[集合型オンラインセミナー(Live配信)] Ver.1.0

開催 : 2021年9月6日週想定 (調整中)

事前申込 : 約200名想定

申込締切 : 2021年7月2日(金)

アイティメディア株式会社

営業本部

TEL:03-6893-2246/2247/2248

Mail: sales@ml.itmedia.co.jp

企画主旨

日々業務を進める中で、「業務用ツールの使い心地が悪い」「あんなシステムがあったら便利なのに」など、 不満や要望を抱えている人も多いでしょう。しかし、社会問題にもなっている人手不足や、教育コストの問題で 社内にプログラマーを抱えられない企業もあります。外注しようにも思い通りのものが納品されるとは限りません。

そこで近年注目されているのが、プログラミングをせずにツールやサービスを開発できる

「ノーコード開発ツール」です。IDC Japanの調査によると、ノーコード開発ツールを導入する目的として、少人数での開発や開発の内製化が挙げられています。ITmedia NEWSの読者傾向としても、非IT人材による短期開発には大きな関心が寄せられています。

一方で、ノーコード開発ツールの導入には「本当にプログラミングの知識が無くても開発できるのか」「開発 したツールに情報セキュリティ上の問題はないか」などの不安がつきまといます。

本セミナーではノーコード開発ツールを活用して、業務上の困りごとを自分で解決する方法や、作ったシステムの運用方法、効果的な活用のコツなどを紹介。ノーコード開発ツールの導入を本格的に考えている方々の不安解消や導入判断に必要な情報を提供します。

「ノーコード開発」に関するITmedia NEWS読者の反響

2021年1月からITmedia NEWSは

「AI・RPA人材不足の救世主 『ノーコード開発』の実力」特集を

スタートしました。

特集開始後、「ノーコード」に関連する記事のPVは、開始前4カ月の1.4倍に。 SNSの反響も大きく、読者の関心が強まっていることが伺えます。

ITmedia NEWS > AI・RPA人材不足の救世主 「ノーコード開発」の実...



ソースコード不要でアプリケーションを作れる「No Code」(ノーコード)と呼ばれる開発手法が注目を集めている。 アプリ開発にかかる時間やコスト、専門知識を持った人材の確保が最小限で済むことから、企業や組織が業務効率化に向けたツールを短時間で内製化できるようになる可能性を秘めている。ノーコード開発が非IT業界に与える衝撃とは。その活用例と実態を追う。

特集ページトップ



SNS・はてなブックマークでも反響

ノーコード開発に関心のある読者(想定視聴者)と課題意識

・開発力に課題を抱えている企業の業務部門

- -業務改善したいが、プログラマーが不足していてできない
- -自分の業務を効率化したいが、プログラミングができなくて諦めている
- -プログラミング経験が無いのにWebサービスを特急で作らないといけなくなった

・中小企業の情報システム部/開発部

- -業務改善はできればしたいが人手が足りない
- -現場の要望を受けて業務用ツールを作ったが、現場の評判が悪い

・開発人員を持たない企業の経営企画・経営者

- -Webサービスやアプリを作りたいのに内製できない
- -外注するとコストや運用面で条件が合わない
- -外注したWebサービスやアプリが思い通りとはいえなかった

【読者調査より】

働き方や仕事への意識

業務改善、効率化を 心掛けている (57.3%、最多)

勤め先の課題

・DX(31.8%) ・働き方改革(30.0%) ・ワークフロー効率化 (19.1%)

関心のあるトピック

アプリ*/* Webサービス開発 (18.4%)

4

イベント概要

開催概要

開催予定日 : 2021年9月6日週 ※調整中

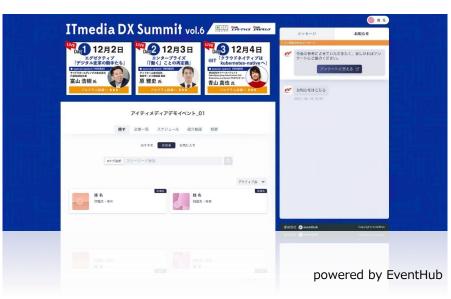
イベント形式 :集合型オンラインセミナー

(Live配信)

事前申込 : 約200名想定

視聴者参加費 :無料

オンラインセミナー エントランスイメージ



想定来場者 :経営者、経営企画の方、社内情報システムの運用・方針策定をする立場の方、

業務部門の企画担当者など

告知/集客 : ITmedia NEWSを中心とした当社媒体

主催 : ITmedia NEWS編集部(アイティメディア株式会社)

運営 : アイティメディア株式会社 セミナー運営事務局

Live Webセミナー 全体図



申込

オンライン セミナー (Live配信)

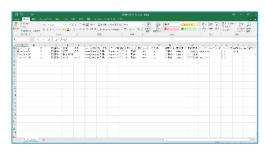
セミナー レポート











通常イベントと同様にアイティメディア運営のWebサイトやメールで集客を行い、 読者を申し込みページへ誘導。申込者に対してオンラインイベントを案内します。 ご参画各社様には、セッションや資料ダウンロードの他、 イベント終了後にExcelにてイベントセミナーレポートを納品いたします。

Live Webセミナー 講演/セッション画面イメージ



- 1. ビデオプレーヤー
- 2. Live揭示板
- 3. 検索タブ
- 4. 検索バー(タグ・フリーワード)
- 5. 紹介動画(アーカイブ動画)
- 6. プロフィールカード
- 7. マイページ設定

講演配信だけではなく、アンケートや視聴者からの質問が投稿できるLive掲示板などのインタラクティブな機能や、情報提供が行えるダウンロード・関連リンク機能をご用意しています。

イベント終了後に、個人情報と視聴履歴のExcelデータを納品いたします。

コミュニケーション機能



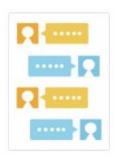
オンライン名刺交換機能

SansanまたはEightの アカウントをお持ちの方で あれば、イベント上で名刺 情報を送ることができる 機能です。



商談/面談リクエスト機能

会いたい人・企業を 見つけたら、リクエストを 送信しましょう。時間帯を 選択し、コメントを添えて 送ることができます。



メッセージ機能

出展社と参加者が クローズドなやりとりを することができます。

セミナーレポートについて

セミナーレポートはExcelにて 1)ライブリスト 2)アーカイブリストの2点納品いたします。

■納品項目

リスト項目	1)ライブリスト	2)アーカイブリスト
全申込者	申込者	申込者
視聴者	ライブ視聴者 ※1	アーカイブ期間中視聴者
講演資料 ダウンロード者	ライブ開催日	アーカイブ開催期間中
資料 ダウンロード者	ライブ開催日	アーカイブ開催期間中
アンケート回答者	ライブ開催日 ※貴社アンケート回答者	アーカイブ開催期間中 ※貴社アンケート回答者

※1 ライブ視聴者リストは講演開始から3分単位で視聴履歴を提供いたします。

納品日		アーカイブ終了日から 3営業日後
-----	--	---------------------

- ・納品リストは開催終了3営業日後にセキュアメールにて ご担当者様に送付いたします。 それぞれのシートに各項目リストを納品いたします。
- ・事務局によるリストのマージはいたしませんのでご了承ください。

■納品リストイメージ



9

主催者コンテンツのご紹介

主催者コンテンツイメージ

想定テーマ

ノーコード開発のメリットを最大限引き出すために必要なこと

コーディングしなくてもアプリやWebサイトなどを構築できる「ノーコード開発ツール」の導入には「開発人材が不足していてもアプリが開発できる」「システム開発の手間と時間を削減できる」などさまざまなメリットがあります。

しかし、システム開発はプログラムを作るだけでいいというものではありません。たとえコーディングの必要がないとしても、そのメリットを最大限引き出すには準備と心構えが必要です。今ある課題は何か、どのようなニーズがあるのか、どうすれば解決できるか、開発したツールの運用や保守はどうするかなどに考えを巡らせなければ、無意味なツールが増えるだけになってしまいます。効果的な活用ができなければ宝の持ち腐れどころかマイナスになりかねません。

公演では、さまざまな企業にコーチングや導入支援を行っている「NOCODE SCHOOL/しんじ」が、ノーコード開発のメリットを最大限引き出すために必要な、課題の洗い出し方、仕様策定のコツ、運用面で気を付けるべきことなどを教えます。

講演者候補

※ご登壇をお約束するものではございません。また、講演内容は一案です。



ノーコードYouTuber

しんじ 氏

ベトナムでオフショア開発会社を経営。YouTubeチャンネル「NoCodeスクール」や自身のnote、Qiitaでノーコード関連の情報を発信。プログラミング学習サービス「CODEGYM」コーチ、Schoo「非エンジニアがWebサービスを開発する方法」を務める他、NewsPicks公式企画「ノーコード革命」に出演するなど活動の幅を広げている。

オンラインセミナー(ライブ配信) 開催スケジュール

ゾーン	講演時間	セッション内容
14:00		
1	40分	主催者セッション
14:40		
14:50		
1	30分	スポンサーセッション 1
15:20		
15:30		
1	30分	スポンサーセッション 2
16:00		
16:10		
1	30分	スポンサーセッション 3
16:40		
16:50		
	30分	スポンサーセッション 4
17:20		

※ タイムテーブル・時間は仮となります。また日数、プログラムはスポンサー数によって変更となる可能性がございます

- ・会期終了後、全セッションを事前登録者に向けアーカイブ配信いたします。(1~2週間程度を予定)
- ・ライブ配信の会場は当社(アイティメディア株式会社)セミナールーム内のスタジオを予定しております。
- ・ライブ配信当日のご予定の調整が難しい場合は、セミナー動画を事前収録のうえご提出ください。 当該セッションのライブ配信時間帯に収録動画を配信いたします。

スポンサープラン

メニュー	セッションプラン	リストプラン
スポンサーセッション セミナー当日、30分のセッション枠をご提供いたします。	0	_
スポンサーアンケート セミナー会場内で、独自のアンケートを実施いただくことが可能です。 さらに、講演時間中にお知らせ欄より、アンケートへの回答を促します。	0	_
全申込者/視聴者データのご提供 セミナー全体の申込者/視聴者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、 名刺情報をリスト提供いたします。	全申込者 約200件想定	全申込者 約200件想定
事前アンケート結果 申込時に立場や選定状況等を尋ねます。これらの回答内容を付随したデータを後日納品します。 見込み客の選別やアポイントを取るときの事前情報としてお役立てください。(設問は弊社設定)	0	0
スポンサーロゴ掲載 セミナー告知ページにロゴを社名/貴社サイトへのリンクを掲載します。	0	0
セミナー会場内:資料配付(合計4点まで) スケジュールタブでは講演資料が1点まで、 企業一覧タブではカタログなど3点までダウンロード提供が可能です。	0	_
来場アンケート結果 来場者アンケートの集計結果を後日ご提供します。(個人情報は含みません)	0	0
※協賛のお申し込みが締切日以降となった場合、各プランとも上記の申込者/来場者データ数に達しない可能性がありますのでご了承ください。 ※セッションスポンサーが3社に満たない場合、実施は見合わせとなります。 事前のご了承、およびお申し込み 締切にご協力いただけますようお願いいたします。	¥ 1,500,000- (消費税別)	¥ 1,000,000- (消費税別)

■オプション① PR記事(@IT Special) 上記セッション付きプランにご協賛いただきました場合に限り、タイアップ記事(貴社セッションをフォーカスしたイベントレポート記事も可)を特別価格で提供いたします。	¥ 1,000,000- (消費税別)
■オプション② セッション動画納品(LIVE配信のみ) 上記セッション付きプランにご協賛いただきました場合に限り、セッション動画のmp4ファイルを特別価格で提供いたします。(編集不可)	¥ 50,000- (消費税別)

お申込み締切:2021年7月2日(金)

※価格はすべて(税抜・グロス)表記です。

13

開催までのスケジュール(予定)



※上記は目安のスケジュールとなります。詳細なスケジュールは開催日が決定後、ご案内いたします。

オンラインセミナー ご留意事項

配布資料について

本セミナーでは配布資料として講演資料・カタログなどを3点まで、ダウンロード配布することが可能です。

資料形式: PDF(50MBまで)

・サムネイルの画像推奨サイズ:縦300px、横400px(画像形式 jpeg,png)

キャンセル料につきまして

申込書受領後または事務局案内開始後のキャンセルは、下記のキャンセル料が発生いたします。予めご了承下さい。

・開催日41日前まで : 50% ・開催日40日以内 : 100%

消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

- ●リスク1:インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害
 - 映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。
- ●リスク2:ライブストリーミングプラットフォーム(Vimeo)における障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。Vimeoは障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、 万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

- ●リスク3:電源障害
- 映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。
- ●リスク4:機材障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

●リスク5:視聴側における障害

総視聴数に対する単独(10%以下)の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。 10件単位で同様の症状がみられる(現場でご報告いただいた)場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

個人情報データの取り扱いについて

本イベントの個人情報または個人情報を含むデータの提供に際し、以下の点をご確認下さい。

1. (データ授受手続き)

提供する個人情報または個人情報を含むデータ(以下「個人データ」という)を受け渡しの際は「個人情報受領書」に署名をいただきます。

2. (利用目的の制限)

個人データは当該イベントに関連した貴社製品/サービスの情報提供に限定してご利用下さい。

本利用目的以外で当該個人データを利用される場合は、貴社の責任において、個人情報の情報主体に対し新たな利用目的を事前通知し同意を得ることをお願い申し上げます。

3. (問合せ先、個人情報変更/削除方法の明示)

個人データを元に情報提供する際は、必ず「貴社内の連絡先」「個人データ収集元となったイベント名」および「個人データの変更、削除、情報提供の停止方法」を明示してください。

4. (管理責任者)

個人データについては管理の責任者を定めご利用下さい。

5. (安全保管)

個人データの記録媒体を紛失・流出等から保護するように安全管理をお願いいたします。

6. (再提供)

本個人データの再提供は原則として行わないで下さい。再提供が必要な場合は事前に情報主体の承諾を得た上でご利用下さい。

7. (委託)

貴社で、個人データを業務委託する際には委託先の監督をお願いいたします。

8. (苦情の解決)

貴社による利用により、情報主体から苦情が寄せられた場合、その解決は貴社側で解決いただきますようお願い申し上げます。 また、弊社に苦情が寄せられた場合、貴社にその解決をお願いする場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

9. (損害の賠償)

貴社による利用が情報主体の権利を侵害したという理由で、貴社が情報主体から損害賠償を請求された場合、弊社での責任は負いかねます。あらかじめご了承下さい。

Copyright © ITmedia Inc.

16

媒体情報

ITmedia NEWSとは

最新テクノロジーからビジネス情報まで幅広く網羅 情報感度が高く発信力を持つイノベーターが まず最初に読む"ファーストメディア"



ITmedia NEWS は、IT部門/業務部門を問わず、ITによるビジネス変革を考えている人、自社のビジネスに課題を持つ人が、まず最初のインプットとして、社会で起きている出来事、幅広い情報を把握しておくために接触するメディアです。

コンテンツは、ITをめぐる最新動向やビジネス情報まで幅広く網羅。そのため読者は、企業のディシジョンメーカー、起業家、アプリ開発者やエンジニアなどのITエキスパートと多様ですが、彼らに共通しているのは「新しいもの、面白いもの好き」という情報感度の高さ。

また、彼らの多くがソーシャルでの意見発信に積極的であるため、ソーシャルにおける発信力、拡散力が他媒体と比べても高いことがITmedia NEWS 最大の特性でもあります。

彼らにとって情報を知ることと、それを発することは同義です。

いいコンテンツは必ず響く――そして今知らなければいけない「ニュース」として広がる。 ITmedia NEWS はさまざまな業界の"イノベーター"を支援するための情報を提供することで、読者とともにメディアを作り上げています。

メディア概要



回 気になるトピック

Trelloの設定ミス、「公

開」の誤解が原因? 分か



ふくおかFGのネット銀行、顧客管理の基盤 にSalesforceとAWS採用

ライフがネットスーパーの新会社 配送網

の整備や専用アプリの開発など

回 新着ニュース



S時代のセキュリティ「ゼロトラ

スト」、正しく理解できてる?

西門家が鉛地

■ 毎キ方功某のレントがマッド 1柱

情報感度が高いイノベーターのために、最新の テクノロジーから業界動向まで幅広い情報を提供

約2,013万PV/約793万UB メルマガ購読数約2.7万件 Twitterアカウント27.1万フォロワー

※2021年1月実績

ITやビジネスへの情報感度が高く 発信力を持つイノベーター

スタートアップ、Web開発者、クリエイター、情シスなど、 テクノロジーでビジネスを変える人たちのインスピレー ション、チャレンジ精神を触発

69%

新規プロジェクト に関与

70%

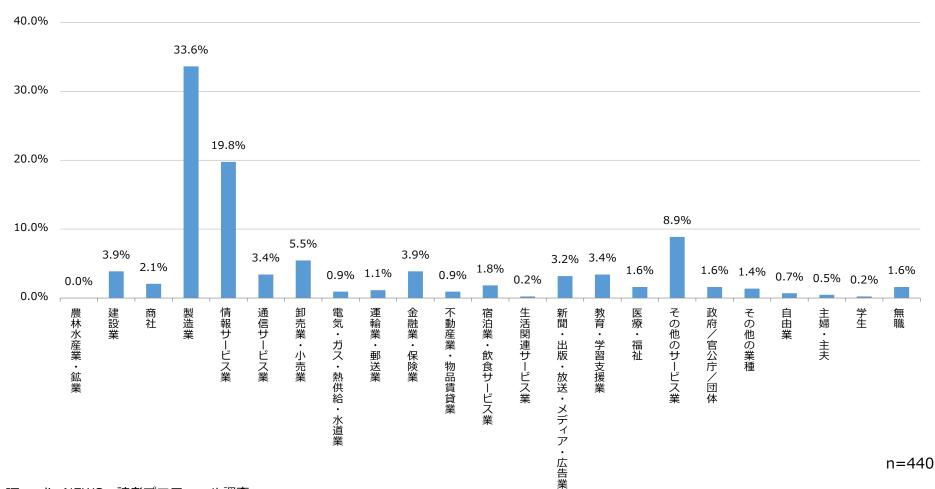
製品導入に に関与

68%

係長以上の 役職者

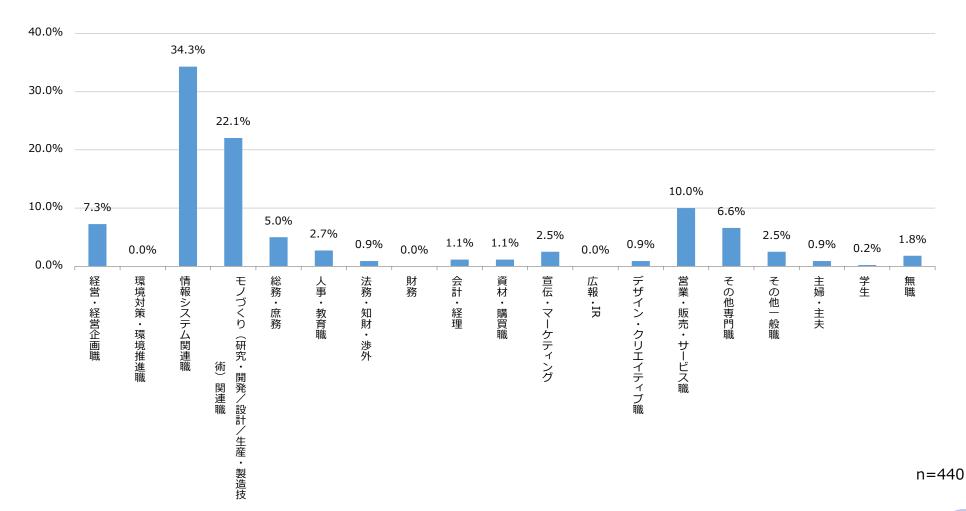
読者属性 -業種

あなたのお勤め先の業種にあてはまるものをお選びください。



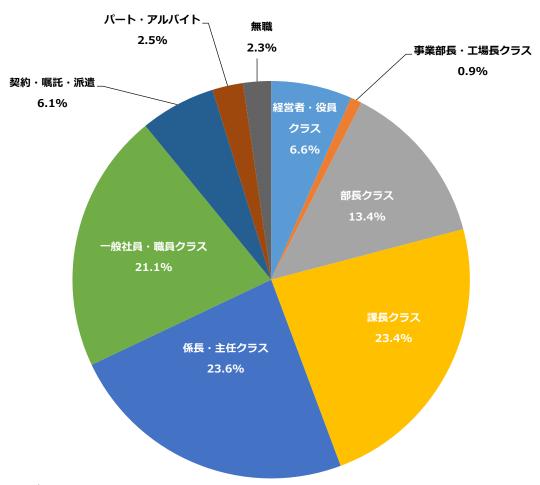
読者属性 -担当業務

あなたの職種にあてはまるものをお選びください。



読者属性 - 役職

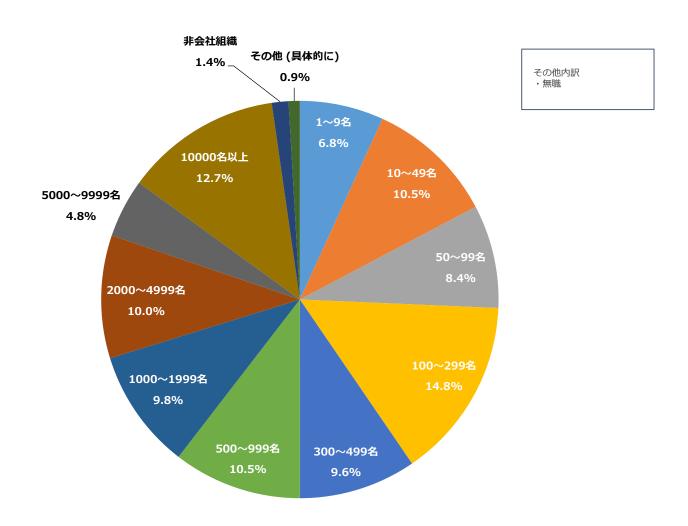
あなたの役職は次のどれにあてはまりますか? 最も近いものをお選びください。



n = 440

読者属性 - 従業員規模

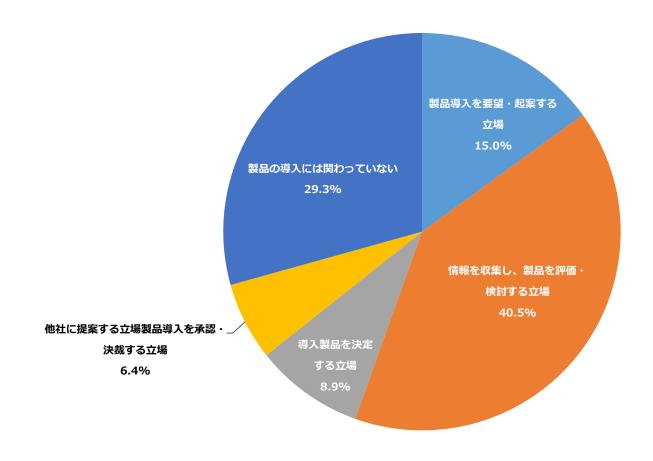
あなたのお勤め先の従業員数にあてはまるものをお選びください。



n=440

導入・決裁への関与

お勤め先で利用する機器やサービスの導入・決裁について、あなたの立場にあてはまるものをお選びください。



n=440

関心のあるトピック

以下に挙げるトピックの中で、ビジネスとして関心があるものをすべてお選びください。(複数回答可)

